

地しんの怖さ

なぎさ小 六一ニ 安保 脩香

地しんはいつくるのかわかりません。分

か、ついたらどなたか助かるのたろう

か、分かつていれば、安心できるのにな

と思

一八九五年一月十七日午前五時四六分。こ

のいしんで死者六四三四人というたかさ

んの人が命をなくしました。私はこの時生ま

れて三か月でした。自分では、その時のこと

はわからなけれど、助けたくあなたお母さん

たちに感謝しています。もしも、助けたく

ていながら、たら今ここにいないので。今は

いるのがあたり前だけれど、それは、いろくな

のおかげだと思

今、兵庫県南部地震のようなどて大きな

ゆれを起す地震がネパールといつと

起さようとしています。けれど、ネパールの家

や建物はとても地震に弱く、少しの地震でた

おれやうな建物ばかりです。今とても危ない

ネパールでは、少し少し近づいて、いる大地震に負けた。ネパールを作らな、といけ、ない。思います。ネパールは、地震について、の防災などについて話し、あ、い、き、する、ため、に、防災会議、というのを、した、やつ、です。この会議は、近づいて、いる、大地震、で、少し、でも、多く、の人々、の、命、が、助、か、る、と、いい、と、い、う、思、い、か、ら、開、か、れ、ま、し、た、。

他の国や地方で地震が起きた時に私たちにできることは、何、な、か、を、考、え、ま、し、た、。

私は、お金をしたり、手紙を送ったり、できれば、地震が起きたところに行、つ、て、活動、し、たい、です。起、き、た、と、こ、ろ、に、行、け、な、く、つ、ま、は、い、が、ま、じ、り、で、元、氣、に、し、て、あ、げ、たい、で、す。地震は、た、く、さ、く、の、人、の、命、を、う、ば、う、け、れ、ど、人、と、人、の、絆、を、作、れ、な、い、思、い、ま、す。